

# 女性活躍応援事業【新潟市】

## 地域の実情と課題

- ・全国に比して女性の労働力率が高い。
- ・現在は職に就いていなくても就業を希望する女性が多く、25歳から49歳までの年代では、就業者と就業希望者の合計が女性全体の9割を占める。
- ・管理的職業従事者に占める女性の割合は全国平均よりも低い。

## 事業の特徴

### ■女性活躍応援事業

- ①働く女性の交流会・・・自身の働き方について考えるとともに、様々な業種の方との交流によりネットワークを作ることを目的に講座を開催。
- ②個別相談会・・・再就業を目指す女性のための個別相談会。県が行う就業支援セミナーと連携して開催。

### ■男性の家庭活躍推進事業

- ①夫婦で参加するワークショップ・・・夫婦が共に家事や子育てに主体的に取り組めるよう、新婚夫婦等が話し合い、目線を合わせるワークショップを開催

## 事業の効果

### ■女性活躍応援事業

- ①働く女性の交流会・・・参加者満足度は100%であり、普段は接することのない職種の方同士の交流により、参加者同士が互いに高め合える機会となった。
- ②個別相談会・・・参加者満足度は100%であり、再就業に前向きになれてという声があった。

### ■男性の家庭活躍推進事業

- ①夫婦で参加するワークショップ・・・参加者の97.9%が「家事・育児の目線をあわせることができた」と回答。

## 目的・目標

- ・働くことを希望する女性がすべて働けるよう、働く女性・働きたい女性を多方面から支援し、2025年度までに25～44歳女性の有業率85.0%を目指す。
- ・男性の家事・育児参画を促進し、2025年度までに男性の育児休業取得率30%を目指す。

## 連携団体

- ・新潟市WLB・女性活躍推進協議会
- ・公益財団法人新潟県女性財団

## 今後の課題

### ■女性活躍応援事業

- ①働く女性の交流会・・・複数回実施・対象者別の内容の検討など事業の充実を図ることが課題。
- ②個別相談会・・・他の自治体等と連携し集客を行うなど、効果的な実施方法を検討することが必要

### ■男性の家庭活躍推進事業

- ①夫婦で参加するワークショップ・・・事業の周知、参加者の確保が課題

# 事業の概要

## 1. 女性活躍応援事業

### ①働く女性の交流会

■日時 令和4年3月5日

■場所 JR新潟駅直結CoCoLo南館内  
シェアスペース「MOYO Re:」

■参加者 23名

#### ■目的

社内だけではなく社外にも働く女性同士のネットワークを広げ、自分自身の働き方やキャリアを考えるとともに、お互いに支え合い高め合う存在となれるような仲間を見つける。

#### ■内容

対人スキル向上宣言！

～「働く」をスムーズにする考え方・伝え方

#### ■参加者の感想

全く同じ境遇の方と出会えて驚いた、うれしかった。

他の方も働くうえで悩みを抱えていることがわかって安心した。

講義ばかりではなく、自分が話せたり他の人の話を聞く時間があってよかった。

### ②再就業を目指す女性のための個別相談会

■日時 令和3年11月30日、12月1日、2日、3日  
令和4年 2月25日、 3月1日、2日、3日

■場所 新潟県女性センター 女性団体交流室

■内容 再就職に向けたキャリアコンサルタント、ファイナンシャルプランナーによる個別相談

■参加者の感想 「面接の時にアピールできるポイントを教えてもらい、自信を持って面接にのぞめた。」など



## 2. 男性の家庭活躍推進事業

■実施期間 令和3年6月～令和4年2月

■場所 オンライン

■参加者 夫婦65組

#### ■目的

家事や子育てにどのように向き合うか、どのように育児を分担するか、育児休業を取得するかなどについて、対話により互いの価値観を理解し、すり合わせる機会を提供することで、その夫婦に合った家事・育児の分担を通じた定着を目指す。

#### ■内容

①夫婦でどのように家事・育児に取り組むのかを共有する

②家事・育児分担の希望を相互で認識する

③夫の育児休業取得の検討、必要な準備と心構え

④テキストを用いたワーク、参加者同士の共有

■参加者の感想 家族のビジョンを話し合ったことがなかったので、お互い何をイメージしているのかを知ることができた。

